

- 1 図書室で、みちるは借りたかった本が最後の一冊だと気づいた。手をのばしたそのとき、となりの下級生も同じ本に手をのばした。みちるは少し考えて、「どうぞ」とその本をゆずった。

★ 気持ちが分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、みちるの気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 下級生に ゆずってあげたい (思いやり)
- ② 本がほしくて たまらない
- ③ 下級生が にくらしい
- ④ たいくつで 早く 帰りたい

こたえ

- 2 遠足の朝、空は黒い雲におおわれていた。ゆうきは「中止かもしれない」と、かばんを何度も見た。ところが出発のころには雲が切れ、青空が広がった。ゆうきは大きく手をふって歩き出した。

★ 気持ちが分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

ゆうきの気持ちは、はじめと おわりで どう 変わりましたか。

- ① 心配 → 安心・よろこび
- ② うれしい → がっかり
- ③ たいくつ → いかり
- ④ こわい → かなしい

こたえ

- 3 わたしは妹のケーキを、つい先に食べてしまった。妹が「わたしの、ないの？」と言ったとき、わたしは何も言えず、下を向いた。あやまろうとしても、なかなか言葉が出てこなかった。

★ 気持ちが分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 後ろめたくて 気まずい
- ② とても ほからしい
- ③ 楽しくて うきうきする
- ④ おどろいて こわい

こたえ

1 こたえ：① 下級生に ゆずってあげたい（思いやり）

手がかり：ほしい本だが少し考えて『どうぞ』とゆずった＝自分の気持ちより相手を思いやる。
②は手をのばした場面の表面的な気持ちで、行動の結果と合わない。

2 こたえ：① 心配 → 安心・よろこび

手がかり：はじめは黒い雲で『中止かも』と心配→終わりは青空で大きく手をふる＝安心してよろこぶ。情景（雲→青空）の変化が気持ちの変化と重なる。

3 こたえ：① 後ろめたくて 気まずい

手がかり：妹のものを食べてしまい、何も言えず下を向く／あやまる言葉が出てこない＝自分が悪いと感じる後ろめたさ・気まずさ。